

興味を引く記事を探す児童＝18日、大野市有終東小



大野 有終東小で特別授業

大野市有終東小で18日、「新聞を楽しく読む会」と題した授業が行われた。5年生約50人が福井新聞社から招いた講師から見出しやリード文など紙面の構成や、新聞によって記事の扱いに違いがあることなどを教わった。新聞を楽しみながら世



新聞読み出来事知ろう

の中の出来事を知り、文章に親しもうと同校が企画。福井新聞社から徳島泰彦NIEコーディネーターらが訪れ、2クラスで授業を行った。

徳島コーディネーターは「何が起こったのか、どうすればよいのかの2点を新聞は伝えている」と解説。子どもたちはこの日の新聞をめくり、それぞれが興味を引く記事を探した。

この後、北海道で国内最大の恐竜全身骨格が発見されたニュースについて、福井新聞と北海道新聞を読み比べた。リード文を読んだ子どもたちは「福井新聞には勝山の恐竜のことも書いてある」などと発見し、新聞に地域性が表れることを確認していた。

寺島礼斗君は「新聞によって書き方が違うことが分かった。これからも

いろいろなニュースを読
んでみたい」と話してい
た。
(寺島賢哉)